

# 第48回全国育樹祭 基本方針 概要

## I 開催方針

### 1 全国育樹祭の目的

継続して森を守り育てていくことの大切さを普及啓発し、国民の森林に対する愛情を培うことを目的として開催します。全国育樹祭を通じて、健全で活力ある森林を次世代へ引き継ぐことの大切さを伝えます。

### 2 開催理念

#### 持続可能な森林づくりの継承

- 「木を使い・植え・育てる」循環や「森と海のつながり」の大切さを伝えます
- 健全で活力ある森林を次世代へ引き継ぐことの大切さを伝えます

#### 伝統と新技術による木材利用の発信

- こけしや矢羽木工品などの地域に根差した木の文化を発信します
- CLT、広葉樹の活用等、新しい木材利用の取組を発信します

#### 震災の伝承と新たな価値の創造

- 東日本大震災から復旧した海岸防災林を通じて震災の教訓を後世に伝えます
- 海岸防災林が人々が集い、親しまれる場となるきっかけとします

### 3 大会テーマ

### 4 シンボルマーク

### 5 ポスター原画

### 6 本県における全国植樹祭の開催状況

第48回全国育樹祭の開催理念や方向性を表し、開催機運を高める「大会テーマ」、「シンボルマーク」及び「ポスター原画」を令和5年度中に公募・選定します。

- (1) 第6回全国植樹祭（昭和30年）  
会場：大衡村（昭和万葉の森）
- (2) 第48回全国植樹祭（平成9年）  
会場：白石市（南蔵王野営場）



第48回全国植樹祭の様子

## III 運営方針

### 1 運営体制

- (1) R5年度に「第48回全国育樹祭宮城県実行委員会」を設置
- (2) R7年度に「第48回全国育樹祭宮城県実施本部」を設置
- (3) 荒天時の実施判断や非常事態に対応するための体制整備

### 2 輸送・宿泊等

- (1) 輸送 …期間中、借上車両（バス等）による輸送を実施
- (2) 駐車場…会場周辺に借上車両等の駐車場を確保
- (3) 宿泊 …主に県外参加者等を対象に宿泊施設を確保

### 3 式典参加者

- (1) 選定方針：森林・林業・木材産業関係者をはじめ、各界から幅広い参加者を選定します。
- (2) 参加者の区分・人数

区分	人数	内訳
中央・県外参加者	約1,500人	中央招待者、知事推薦
県内参加者	約2,000人	県内市町村推薦、一般公募
出演者・スタッフ	約1,500人	出演団体、運営本部員等
合計	約5,000人	

### 4 その他

- (1) 警備・警護
  - 県警及び関係機関と連携し、万全を期します。
- (2) 救護・衛生
  - 医療関係者等と連携し、傷病者の救護体制を整備します。
  - 飲食等による事故防止や感染症予防のため、環境衛生対策に万全を期します。
- (3) 消防・防災
  - 関係機関等と連携し、万一の火災等の緊急事態に備えます。
- (4) 環境整備
  - 会場に総合案内所や湯茶接待所等を設置し、快適な環境を整えます。
- (5) 特産品等展示・販売
  - 式典会場等において、特産品等の展示・販売を行い、本県PRに取り組みます。
- (6) 記念品等
  - 宮城県らしい記念品や名所を紹介するパンフレット等を配布します。

## II 開催概要

### 1 全国育樹祭行事

※開催日の決定・公表はR7.1頃を予定

区分	開催日	会場	参加人数	内容等
(1) お手入れ行事	令和7年秋季※ (式典の前日)	国立花山青少年自然の家 南蔵王野営場（白石市）	約300人	皇族殿下によるお手入れ 参加者記念育樹 等
(2) 式典行事	令和7年秋季※	セキスイハイムスーパー アリーナ（利府町）	約5,000人	皇族殿下のお言葉 緑化功労者表彰 等
(3) 懇談会	令和7年秋季※ (式典の前日)	未定	約300人	皇族殿下の御臨席を仰ぎ、 関係者、緑化功労者を招待

### 2 併催行事

区分	開催日	会場	参加人数	内容等
(1) 育林交流集会	令和7年秋季※ (式典の前日)	未定	約300人	基調講演 パネルディスカッション 等
(2) 全国緑の少年団 活動発表大会	令和7年秋季※ (式典の前日)	未定	約300人	緑の少年団による活動発表 各種表彰 等

### 3 記念行事

区分	開催日	会場	参加人数	内容等
(1) 森林・林業・環境 機械展示実演会	令和7年秋季※ (式典の当日及び翌日)	未定	約10,000人	高性能林業機械等の展示、実演 等
(2) 国民参加の森林 づくりシンポジウム (1年前イベント)	令和6年秋季	未定	約300人	基調講演 パネルディスカッション 等
(3) その他記念行事	—	—	—	市町村や関係団体等と連携したイ ベント等（例：海岸林保育活動）

## IV 広報・協賛

### 1 広報・PR

全国育樹祭の開催理念や開催意義について、広く普及・浸透を図り、森林の恩恵や木の良さの発信、森林の大切さ、木材利用の意識の醸成を図ります。

- (1) 各種イベント等と連携した普及啓発
  - 県内各地で開催される森林・林業・木材産業関連イベントや環境関連行事と連携し、積極的な情報発信を行います。
- (2) 広報媒体による普及啓発
  - 新聞、テレビ、SNS等多様な媒体を活用します。
  - 第48回全国育樹祭のホームページを開設します。

### 2 記録

全国育樹祭の開催記録を保存するために、記録誌や記録映像を制作します。



記録誌（R4大分県）

### 3 協賛

開催方針に賛同する企業や団体等を対象に、物品・役務・資金（協賛金）の提供や広報・PRへの協力等の協賛を検討し募集します。

## V 開催準備スケジュール

年度	準備内容等
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第48回全国育樹祭宮城県実行委員会設置</li> <li>●大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画募集・決定</li> <li>●基本計画策定</li> </ul>
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●イベント（「国民参加の森林づくり」シンポジウム）開催</li> <li>●開催日程の決定・公表</li> <li>●実施計画策定</li> </ul>
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第48回全国育樹祭宮城県実施本部設置</li> <li>●リハーサル等の開催準備</li> <li>●第48回全国育樹祭開催</li> </ul>